



ひろしまジン大学

hiroshima-jin university network

2025 年度活動報告書 / 2026 年度計画

特定非営利活動法人 ひろしまジン大学

ADDRESS: 730-0802 広島市中区本川町3丁目1番5号 2階 port.inc内 HP: jindai.hiroshima.jp

2025年度活動報告

2025年は「動けたこと」と

「動けなかったこと」が、わかれた一年でした。

江田島での企業人材の越境研修、大学との連携事業など、新しく広がるものもある一方で、ジン大のメインの活動の一つでもある、「授業」や「ジンとりっぷ」は、思ったようには動かせず…というのが正直なところ。

立ち上げから丸15年を迎え、メンバーそれぞれの立場や働き方等もかなり変わってきた中で、これからのジン大自体の在り方にもみんなで考えたいと思っています。

とはいえ、背伸びをしてあれこれやるより、これまでどおり、まずは無理なく、かつ楽しく続けられることを大切にしながら、次の一年につなげられたらと思っています！

1年間の主な動きダイジェスト

- まるくる大野での「ライフとワーク」は料理人、薬剤師、画家、小学校教諭、広電さん、プログラマーと今年も多種多様！
- 同じくまるくる大野の「まるくるスクール」。今年のキーワードは「ファンドレイジング」「スマホで広報写真」「仲間のつくりかた」。今期も参加者よりスタッフの方が学ばせてもらった気も…
- 「地域コミュニティを学ぶスタディツアー」10代～70代までの参加者で3つの町内会組織を社会科見学！どの地域も試行錯誤しながら、その人や場所ならではの最適解を見つけておられて学び多い。
- 「廿日市市民センタープログラム開発」廿日市における「公民館」的な役割を担う20館の市民センター。その職員さんたちと、如何に楽しく、また助け合いながら企画や講座をつくれるか実験中！
- 平尾が関わることになった広島市立大学の地域プロジェクト、アントレプレナーシップ育成プログラムに、ジン大としても参画！大学生との接点が増えた。

主催事業

自主事業

自主事業①

【公開座談会】

障害者の一人暮らし、そのリアルな話 part2

ジン大の立ち上げメンバーの一人、呉市在住の nao さんがコーディネーターを務める座談会。昨年は呉のみなさんをゲストにお迎えしましたが、今回は広島市から「障害者生活支援センター てごーす」の方々をお招きして開催!みなさんそれぞれの一人暮らしについて、また介助者さんとの関係のこと、その関係に悩んだ時の解決方法などをお話いただきました。てごーすは、広島のCIL(自立生活センター、障害当事者が運営する団体)ということもあり、非常に刺激になる話、勉強になる話がたくさんありました。

開催日:2025年7月25日(金)

会場:呉市役所1階 くれ協働センター 第1・2会議室

登壇者:社会福祉法人くれんど、NPO法人障害者生活支援センター・てごーす

主催:ちらくれん(ふりーだむ .KURE)



自主事業②

越境学習リーダーシッププログラム (ACROSS)

企業で働く人材が組織の枠を越え、地域や他業種と関わりながら学ぶ越境型のリーダーシップ研修「ACROSS」の第1回を実施しました。参加者は江田島でのフィールドワークや対話、空き家対策、関係人口創出、地域コミュニティの維持など、実践的な課題を通じて、普段とは異なる現状や価値観に触れ、自身の仕事やキャリアとのつながりを見つめ直しました。

研修前後に実施したアンケートでは、特に課題解決力や社会的視座の高まりが顕著に見られました。また、参加された企業の人事担当者からは「一皮むけた」「発言や行動が変わった」といった声も寄せられ、組織内での行動変容にもつながっています。越境による新たな視点の獲得と実践を通じて、自ら考え動くリーダー人材の育成に寄与する機会となりました。

開催日:2025年7月17日(木)、7月24日(木)・25日(金)、7月31日(木)、8月7日(木)、8月28日(木)、9月11日(木)・25日(木)、10月2日(木)

会場:江田島市フウド、ポートクラウドなど

講師:叡啓大学 早田吉伸教授

協力:一般社団法人フウド、ひらくトビラ(Hiro-Act Villa)

(ひろしまジン大学は毎回の運営全般を担当)



地域・まちづくり支援事業

受託事業・協力事業

ひろしまジン大学では、主催事業のみではなく、国や地方自治体、企業、他の NPO 等との連携のもと、地域づくりや人材育成事業などの実施、場づくりの支援をしています。

地域まちづくり支援事業 | 受託事業①

ライフとワーク(廿日市市まるくる大野)

廿日市の中学生を主な対象に、「人生のヒント、仕事のヒント」をテーマとした夏休み2日間の連続講座。いろんな大人の生き方や働き方に会って、「こんな道もあるんだなあ」と少しでも感じてもらえたら、という思いから始まった事業です。

登壇していただいたのは、小学校の先生、シェフ、画家であり保育士、エンジニア、薬剤師、まちづくりの実践者など、肩書を並べるとなかなかカオスな名。それぞれが仕事の話だけでなく、つまづいたこと、迷ったことなども含めて、本音で語ってくださいました。後半は一緒にパスタをつくったり、作品をつくったりと、歌ったりと、手や体を動かす時間も。楽しく体験しながら、人生や仕事を考える時間になったのではないかと!

開催日:2025年8月2日(土)、8月3日(日)

講座①「小学校教諭のお仕事」～脇田直弥さんの場合～

講座②「シェフのお仕事」～道浜征司さんの場合～

講座③「画家&保育士のお仕事」～岡本礼子さんの場合～

講座④「システムエンジニアのお仕事」～山下健吾さんの場合～

講座⑤「薬剤師のお仕事」～岡本寛子さんの場合～

講座⑥「まちづくりのお仕事」～前田琢己さんの場合～



地域まちづくり支援事業 | 受託事業②

まるくるスクール(廿日市市まるくる大野)

今年度も廿日市の大野エリアの方々や、まるくる大野に登録する市民団体の方々を主な対象に講座を実施しました。テーマは「活動を広げたい!はじめての助成金申請のコツ」「広報に活かせる!伝わる写真をスマホで撮るコツ」「地域づくりの仲間を見つけたい!関わりしろを作るコツ」の3つのコツ。様々な現場でのプロの実践者である3名のゲスト講師からの学びはもちろん、NPOや市民団体、大学や町内会等で活躍される参加者のみなさんのお話も刺激的。ひろしまジンの活動やスタッフそれぞれの仕事にも活かせるポイントも多く、私たちにとっても大変学び多き時間でした。

開催日:2026年1月10日(土)、1月17日(土)、1月31日(土)

講師:

「活動を広げたい!はじめての助成金申請のコツ」松村渉さん(NPO法人ひろしまNPOセンター)

「広報に活かせる!伝わる写真をスマホで撮るコツ」川本理恵さん(写真家)

「地域づくりの仲間を見つけたい!関わりしろを作るコツ」為政久雄さん(広島市亀山公民館職員(社会教育士))



地域コミュニティづくりのリアルな現場を学ぶ

スタディツアー2025@広島市(広島市)

若い世代の地域コミュニティへの関心を高め、将来の地域社会への関わり手への一歩につなげることを目的に、スタディツアー形式の連続プログラムを実施しました。今年で4年目の取り組み。事前講座で広島市の地域コミュニティの現状やLMO (Local Management Organization : 地域運営組織) の仕組みを学んだのち、3回にわけて実際に大州(南区)・飯室(安佐北区)・吉島東(中区)の各地域を訪問。

例えば大州では、LINE などICTを活用した情報発信や企業と連携したイベントの立ち上げ方や運営など、働き世代でも関われる町内会運営の工夫を学びました。飯室では、複数団体を束ねるLMOによる効率化や企業との協働、吉島東では多様な団体を巻き込んだ柔軟な活動のあり方や進め方に触れ、それぞれ異なる地域のリアルを体感しました。最終回のワークショップでは、「地域の担い手不足」「若者が関わるきっかけづくり」などをテーマに対話を行い、「地域活動は大人の部活動」「楽しいことが入口になる」といった気づきが共有されました。実際に現場に足を運び、人と出会い、語らうことで、地域を「自分ごと」として捉えるきっかけを生み出す機会となりました。

開催日:2025年10月15日(水)、11月1日(土)、11月22日(土)、
12月7日(日)、12月20日(土)

視察先地域:

大州学区(南蟹屋町内会)

飯室地区(飯室地区地域運営委員会)

吉島東学区(吉島東学区孫子老のまちづくり協議会)



市民センター学習プログラム支援

(廿日市市)

昨年に続き、廿日市市が主催する市民センター学習プログラム開発支援事業を受託し、全センターから職員が出席し、主体的に学習プログラムを企画・実践するための連続講座(全6回)を実施しました。

参加者は、自身の現場で取り組みたいテーマや課題を持ち寄り、その背景や目的を整理しながら企画を具体化。各回では発表とポジティブな相互フィードバックを重ね、他センターの実践から学び合う機会となりました。ゲスト講師の講話も交えながら視点を広げ、最終回には今後の展開も含めて発表を行いました。実践・対話・振り返りを通じて、現場に根ざした学びの質を高める機会となりました。



地域まちづくり支援事業 | 協力事業①

芸北の茅葺き文化を未来へつなぐプロジェクト

かつて地域のつながりや暮らしを支えてきた芸北の茅葺きに関わる文化や知恵を、次の世代へとつないでいくことを目的とした、広島市立大学主催の本プロジェクトに協力しました。12名の市立大学生と5名の社会人・高校生がともに現地を訪れ、茅刈りや茅葺き屋根の見学、職人や地域の方々への聞き取りなどを通じ、茅葺き文化の背景にある自然や人の関わりを体感的に学びました。

さらに、学んだことをもとにインタープリテーションの手法を用いたガイドプログラムを各自が自ら企画し、一般参加者に向けて実践。体験と対話、発表とフィードバックを行うことで、茅葺き文化を「自分」の興味・関心との接点の発見や、地域との新たな関係づくりにつながる機会となりました。

開催日:2025年5月29日(木)、6月7日(土)、7月12日(土)～13日(日)、9月20日(土)、11月23日(日)

ゲスト講師:河野宏樹さん(当法人理事/NPO法人これからの学びネットワーク代表理事)

主催:広島市立大学「いちだい地域共創プロジェクト」

協力:NPO 法人西中国山地自然史研究会



地域まちづくり支援事業 | 協力事業②

ソーシャルアントレプレナー育成事業

広島市立大学が主催するソーシャル・アントレプレナーシップ・プログラム「tanebi」に協力し、社会的起業をテーマに全6回の講座を実施。参加者は自らの内面を探ることから始め、自身の関心や問題意識を出発点に、「なぜやりたいのか(Why)」を深掘りしながら、社会課題と自分とのつながりを探究しました。ゲスト講師による実践的な話や個別相談、グループワークを通じてアイデアを具体化するとともに、協同労働という働き方についても学びました。最終回ではグループに分かれて事業計画と収支計画を発表。プログラムを通じて実際に起業に向けて動き出す学生も現れるなど、学びを具体的な行動へとつなげる機会となりました。

開催日:2025年10月18日(土)、11月15日(土)、11月29日(土)、12月13日(土)、2026年1月24日(土)、2月14日(土)

主催:広島市立大学

講師:三枝大祐さん(シビック・イノベーション拠点スナバ運営チーム)/高成田健さん(広島市「協同労働」プラットフォーム統括コーディネーター)/伊東高之さん(広島市経済観光局雇用推進課)



2025年度財務・ 2026年度計画

2025年度財務報告

収入(経常収益)

事業収入(受託事業含む)	7,582,550円
会費・寄付	60,000円
受取利息等	11,566円
合計	7,654,116円

支出(経常費用)

事業費(委託費・謝金・消耗品等)	6,690,313円
管理費	143,405円
合計	6,833,718円

2026年度計画

新規事業

自主事業

聞き書き茶論^{さろん}2026

自主事業

第一期 聞き書きゼミ

継続事業

自主事業

授業

自主事業

越境学習リーダーシッププログラム(ACROSS)

受託事業

広島市 地域コミュニティづくりのリアルな現場を学ぶスタディツアー

受託事業

廿日市市 市民センター学習プログラム支援

受託事業

まるくる大野 ライフとワーク

受託事業

まるくる大野 まるくるスクール